

CREATIVE®

ユーザーズガイド



MuVo® V200

ユーザーズガイド

Creative MuVo V200

本書の内容は予告なく変更されることがあり、Creative Technology 社の契約を示すものではありません。また、Creative Technology 社の事前の文書による承諾なしに本書の一部、または、全部を複製すること、および転用することは媒体の如何（コピーおよび電子記録を含む、電子的または機械的な媒体）、目的の如何を問わず禁止されています。本書で説明するソフトウェアは使用許諾契約書の規定に従います。このソフトウェアは、同契約書の使用許諾条件を満たす場合にのみ使用または複製することができます。同契約書の規定による許可なくこのソフトウェアをその他の媒体に複製することは、法律に違反しますのでご注意ください。使用許諾契約受諾者は、バックアップ用として 1 点に限りこのソフトウェアの複製を作成することができます。

ソフトウェアの使用許諾契約書は、インストール CD 上の別のフォルダに収録されています。

Copyright © 2004 Creative Technology Ltd. All rights reserved.

1.0 版

2004 年 8 月

Creative ロゴ、MuVo ロゴ、および Creative MediaSource は Creative Technology Ltd. の米国、およびその他の国々における登録商標です。Microsoft と Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。許可なく複製、複製、または転載することは禁じられています。Intel と Pentium は Intel Corporation の米国、およびその他の国々における商標です。CDDb は CDDb, Inc. の商標です。その他すべての製品名は該当する各社の商標、または、登録商標です。

目次

目次

ご使用の前に

はじめに	vi
最小システム要件	vi

1 プレーヤーについて

各部の名称	
および機能	1-1
スクローラの使用	1-2
スクロールセレクト	1-2
メニュー項目の選択	1-2

2 ご使用の準備

ステップ 1: コンピュータの設定	2-1
ステップ 2: 電池の取り付け	2-3
電源およびレベルの表示	2-4
ステップ 3: 音楽やファイルの転送	2-5
インターネットからのダウンロード	2-6
CD からのリッピング	2-7
ステップ 4: プレーヤーの終了	2-8

3 プレーヤーの使い方

プレーヤー電源のオン / オフ	3-1
モードの切り替え	3-2
音楽トラックの再生	3-2
音楽トラックの削除	3-3

音楽トラックの管理	3-4
フォルダのスキップ	3-4
FM ラジオを聞く	3-5
オーディオおよび FM ラジオの録音	3-11
音楽の録音	3-11
FM ラジオの録音	3-12
録音ファイルの再生	3-13
再生モード	3-15
曲リピート	3-16
単位リピート	3-16
リピート	3-16
Repeat Portion (AB リピート)	3-17
シャッフル	3-17
ランダム	3-18
シングル	3-18
ノーマル	3-18
イコライザ設定	3-19
イコライザ設定	3-19
カスタムイコライザの定義	3-20
ユーザー設定	3-21
設定	3-21
プレーヤーのロック / ロック解除	3-24
プレーヤーのフォーマット	3-25

付録

A 技術仕様

サイズ (幅×高さ×奥行き)	A-1
重量	A-1

内蔵メモリー	A-1
電池のタイプ	A-1
電池の持続時間（連続再生時間）	A-1
再生フォーマット	A-1
レコーディング形式	A-1
SN 比	A-1
チャンネルセパレ - ション	A-2
再生周波数	A-2
全高調波歪率	A-2
オペレーティングシステム / ファームウェア ...	A-2
ヘッドフォン出力端子	A-2
液晶画面	A-2
データポート	A-2
ファームウェアサポート	A-2

B 画面に表示される図およびアイコンについて

画面に表示される図	B-1
再生アイコン	B-2
再生モードアイコン	B-3
エラーを示す図	B-4

C FAQ

自動再生	C-1
製品情報	C-1
使用方法	C-2
著作権保護（DRM）	C-3

ご使用の前に

ご使用の前に

はじめに



MuVo V200 プレーヤーは著作権保護 (DRM) 付き WMA 形式ファイルの再生に対応しています。

このたびは Creative の新しいマルチフォーマットプレーヤーである、Creative MuVo® V200 をお買い上げいただきありがとうございました。MuVo V200 では、ミュージックライブラリに多数の曲を保存し、付属の USB 2.0™ コネクタを通じて音楽トラックやデータをすばやく簡単に転送できます。

最小システム要件



MuVo V200 CD に収録されているソフトウェアアプリケーションの基本機能を実行するには、システム要件が高くなる場合があります。詳細については、各アプリケーションのマニュアルを参照して下さい。

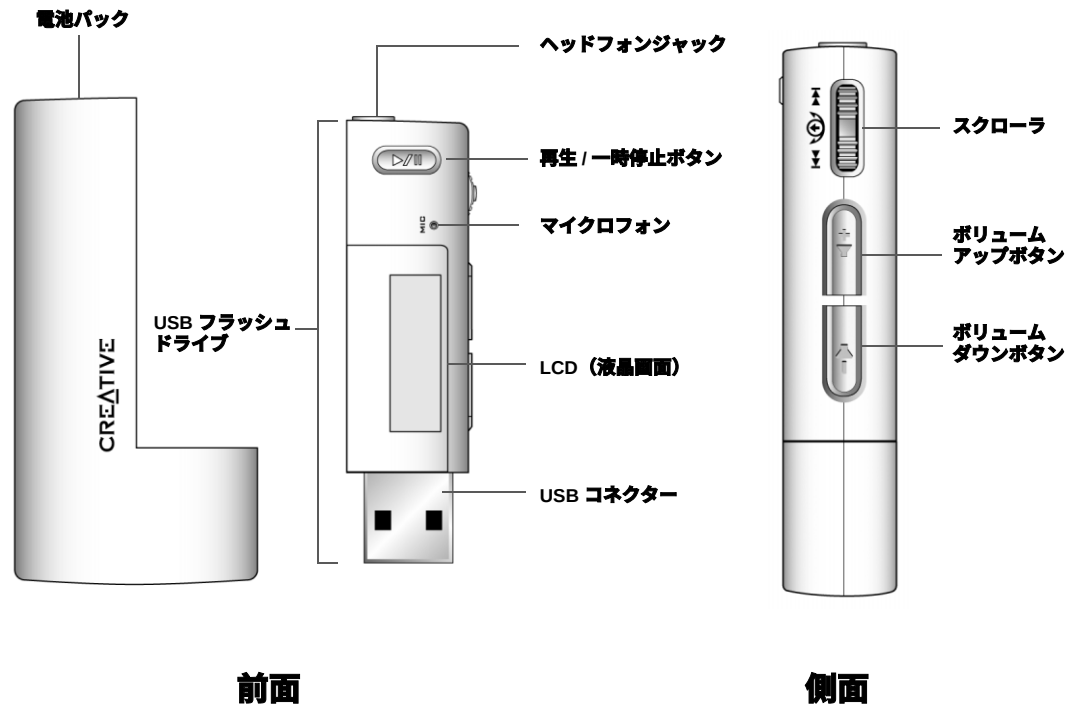
- Microsoft® Windows® XP/2000/Millennium (Me)/98 Second Edition (SE)
- Intel® Pentium® II 350 MHz MHz 以上 (MP3 のエンコードには Pentium III 450 MHz 以上を推奨)
- デジタルオーディオリッピング対応 CD-ROM ドライブ
- USB 1.1 規格に準拠した空き USB ポート 1 つ (USB 2.0 を推奨)
- 64 MB のシステムメモリー (128 MB を推奨)
- 30 MB の空きディスク容量 (オーディオファイルの保存には別途空きディスク容量が必要)
- マウス
- SVGA 対応のグラフィックアダプター (256 色、解像度 800 × 600 以上)

1

プレイヤーについて

プレーヤーについて

各部の名称 および機能



スクローラの 使用

スクロールセレクト

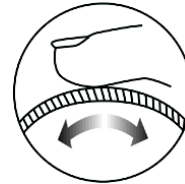


「スクロールセレクト」するには、スクローラを回して項目間を移動し、スクローラを押して項目を選択します。

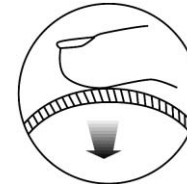
スクローラは、MuVo V200 で最も重要な機能の 1 つです。本書で「スクロールセレクト」という場合、スクローラを回して項目間を移動し、目的の項目でスクローラを押して選択することを意味します。



スクローラ
(側面)



スクローラを回して項目間を
移動します



スクローラを押して項目を
選択します

メニュー項目の 選択

スクローラを回してメニュー項目を選択できます。
例えば、[メインメニュー] 画面が表示されている場合：



[メインメニュー] 画面から [再生モードオプション] 画面への切り替え

1. スクローラを回してメニュー項目間を移動します。
2. スクローラを押してメニュー項目を選択します。

ボタン

機能

使用時のヒント

再生 / 一時停止



- プレーヤーの電源のオン/オフを切り替える。
- 液晶画面のバックライトをオンにする。
- トラックの再生を開始、一時停止、または再開する。

- プレーヤーの電源をオンにするには、画面に「MuVo V200」のロゴが表示されるまで、このボタンを押し続けます。
- プレーヤーの電源をオフにするには、「Power off (パワーオフ)」のメッセージが表示されるまで、このボタンを押し続けます。
- プレーヤーがロックされている場合、このボタンを押すと液晶画面のバックライトが点灯します。

ボリュームアップ



- ボリュームを上げる。

- 押し続けると、すばやくボリュームアップします。

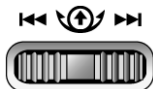
ボリュームダウン



- ボリュームを下げる。

- 押し続けると、すばやくボリュームダウンします。

スクローラ



- 前または次のトラックに移動する。
- トラック内を早送りまたは巻き戻しする。
- メニュー項目間を移動する。
- メニュー項目を選択する。

- 再生時にスクローラを回すと、前または次のトラックに移動します。
- 再生時にスクローラを回し、回した方向に押し続けると、トラック内を早送りまたは巻き戻しします。
- スクローラを回してメニュー項目間を移動し、スクローラを押して目的の項目を選択します。この動作を「スクロールセレクト」と呼びます。

2

ご使用の準備

ご使用の準備

ステップ 1: コンピュータ の設定



Windows 98 SE をお使いの場合、トラックやファイルをプレーヤーに転送するには、ドライバをインストールする必要があります。



Windows 2000/XP をお使いの場合、プレーヤーを設定するには、管理者権限を持ったユーザーとしてコンピュータにログインする必要があります。詳細については、各オペレーティングシステムのオンラインヘルプを参照して下さい。

Creative MuVo V200 には、オーディオトラックの作成、ミュージックライブラリの管理、プレーヤーの操作を簡単に行うためのソフトウェアと Windows 98 SE 用ドライバが付属しています。Windows Me/2000/XP をお使いの場合は、ドライバをインストールする必要はありません。

1. プレーヤーがコンピュータに接続されていないことを確認します。
2. MuVo V200 インストール CD を CD-ROM/DVD-ROM ドライブに挿入します。インストールが自動的に開始します。インストールが開始しない場合は、以下の手順に従って下さい。
 - i. Windows エクスプローラを起動します。
 - ii. 左のウィンドウ枠の [マイ コンピュータ] アイコンをクリックします。
 - iii. [CD-ROM/DVD-ROM] ドライブのアイコンを右クリックし、[自動再生] をクリックします。
3. [MuVo V200 ソフトウェア] をクリックして選択します。
4. [OK] ボタンをクリックします。
5. 画面に表示される手順に従って操作します。Creative MediaSource™ および Windows 98 SE ドライバ（該当する場合のみ）がコンピュータにインストールされます。
6. メッセージが表示された場合はコンピュータを再起動します。



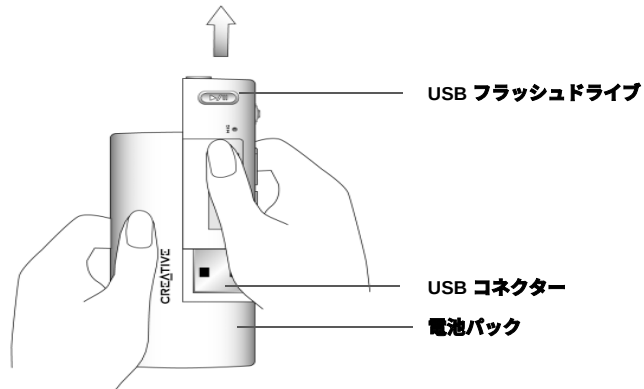
USB ポートは、コンピュータの背面にある場合もあります。前面にある USB ポートに USB フラッシュドライブを接続できない場合は、背面の USB ポートに接続して下さい。



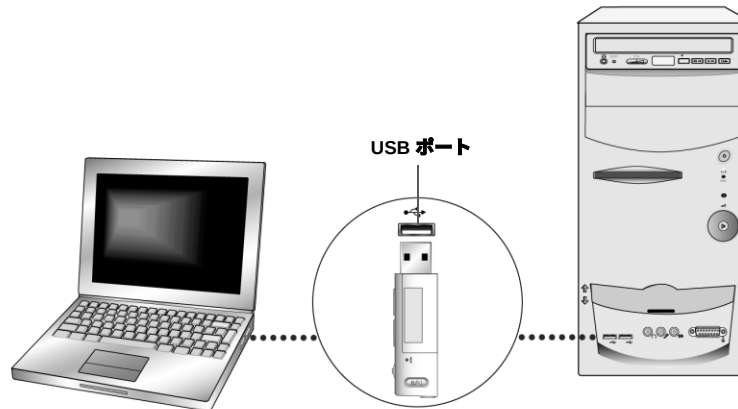
コンピュータに接続する際は、USB フラッシュドライブのボタンに触れないよう注意して下さい。

7. プレーヤーをコンピュータに接続します。

a

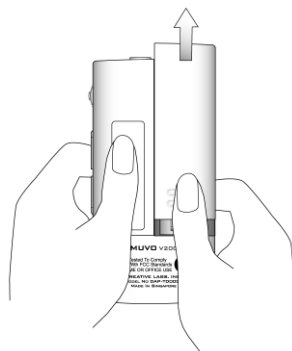


b



ステップ 2: 電池の取り 付け

a



b



c



電源およびレベルの表示



連続再生時間はさまざまな要因により変化します（例えば、ボリュームレベルの調整を行うなど）。詳細については、C-2 ページの「使用方法」を参照して下さい。

プレーヤーに電池を挿入すると、次のいずれかのアイコンが表示され、電池の残量を確認できます。

アイコン	意味	メモ
	○ 電池の残量は約 100 % です	○ 電池には十分な電力があります
	○ 電池の残量は約 60 % です	
	○ 電池の残量は約 30 % です	
	○ 電池の残量はもうすぐ空になります	○ 早めに電池を交換して下さい

ステップ 3: 音楽やファイルの転送



転送された音楽を聴くには、プレーヤーをミュージックモードに設定する必要があります。設定方法については、3-1 ページの「プレーヤーの使い方」を参照して下さい。

プレーヤーに音楽トラックを転送して追加するには、インターネットの音楽サイトから音楽トラックをダウンロードするか、音楽 CD からリッピングしてコンピュータに取り込みます。詳細については、2-6 ページの「CD からの リッピング」を参照して下さい。

音楽トラックを転送するには、ソースファイルを MP3 または WMA 形式に変換し、Creative MediaSource オーガナイザを使ってプレーヤーに転送します。

音楽以外のデータファイルをプレーヤーに転送することもできます。たとえば、お使いのコンピュータから別のコンピュータに大きな画像ファイルを転送する場合に便利です。

Creative MediaSource オーガナイザで音楽やファイルを転送するには

1. プレーヤーの USB フラッシュドライブをコンピュータの USB ポートに接続します。
2. Creative MediaSource オーガナイザを起動します。
3. 左のウィンドウ枠でプレーヤーに転送するファイルを選択します。選択したファイルをドラッグして、プレーヤーに転送します。
著作権保護 (DRM) 付き WMA ファイルの転送については、C-3 ページの「著作権保護 (DRM)」を参照して下さい。
4. 転送が完了したら、プレーヤーを終了して、コンピュータから取り外します。詳細については、2-7 ページの「ステップ 4: プレーヤーの終了」を参照して下さい。

CD からの リッピング



トラックをリッピングする前に、CDDb から音楽 CD 情報を取得すると、トラック情報を手動で入力する手間が省けるので便利です。



音質はフォーマット形式やビットレートによって異なります。詳細については、MediaSource のオンラインヘルプを参照して下さい。

音楽トラックを音楽 CD からプレーヤーに取り込むには、デジタルオーディオデータを抽出できる CD-ROM ドライブと Creative MediaSource オーガナイザが必要です。

Creative MediaSource オーガナイザは、音楽 CD のオーディオ情報を読み取り、指定したビットレートで MP3 ファイルに変換します。

MP3 ファイルの標準ビットレートは通常 128 Kbps ですが、160 Kbps または 192 Kbps などの高いビットレートに設定されているファイルもあります。標準ビットレートを使用すると、MP3 ファイルの音質は元のデータとほぼ同じに保たれます。高いビットレートを使用すると、MP3 ファイルのサイズは大きくなり、音質も高くなります。

音楽 CD からオーディオ情報を抽出するのに必要な時間は、次の要因によって変わります。

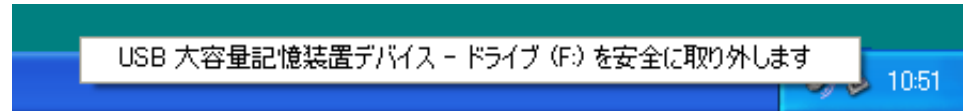
- CD-ROM ドライブのデータ抽出速度
- CD に付いている傷などの欠陥
- CD-ROM ドライブのエラーチェック機能
- 指定した変換ビットレート

リッピングおよび音楽 CD の変換の詳細については、Creative MediaSource オーガナイザのオンラインヘルプを参照して下さい。

ステップ 4: プレーヤーの終了

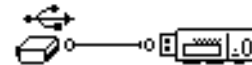
Windows Me/2000/XP の場合

- ▶ タスクバーにある [ハードウェアの安全な取り外し] アイコン  をクリックし、[USB 大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します] をクリックします。安全に取り外せる状態になったら、プレーヤーを取り外して下さい。



Windows 98 SE の場合

- ▶ Windows エクスプローラで [リムーバブル ディスク] アイコンを右クリックし、[取り出し] をクリックします。安全に取り外せる状態になったら、プレーヤーを取り外して下さい。
プレーヤーを取り外す前に、以下のアイコンが 5 秒間以上液晶画面に表示されていることを確認します。



3

プレイヤーの使い方

プレーヤーの使い方

プレーヤーには Music（ミュージック）または Recordings（録音ファイル）の 2 つのモードがあります。Music（ミュージック）モードでは MP3 または WMA ファイル、Recordings（録音ファイル）モードではマイクや FM ラジオから録音した音声のみを再生します。モードの切り替えの詳細については、3-2 ページの「モードの切り替え」を参照して下さい。

また、再生モードによって音楽トラックの再生方法を変更できます。詳細については、3-14 ページの「再生モード」を参照して下さい。

プレーヤー電源 のオン / オフ



プレーヤーにオーディオトラックが保存されていない場合、Music（ミュージック）モードでは "No Music（ファイルなし）"、Recordings（録音ファイル）モードでは "No Recording（ファイルなし）" というメッセージがそれぞれ画面に表示されます。

プレーヤーの電源を入れる前に、お使いのコンピュータから USB フラッシュドライブを外して、電池パックに差し込んで下さい。

プレーヤーの電源を入れるには

プレーヤーの電源がオンになるまで、再生 / 一時停止ボタン  を押し続けます。

「CREATIVE」ロゴに続いて「MuVo V200」ロゴが画面に表示されます。プレーヤーに保存されている音楽トラックが自動的に再生されます。

プレーヤーの電源を切るには

[Power Off（パワーオフ）] のメッセージが画面から消えるまで、再生 / 一時停止ボタン  を押し続けます。

モードの切り替え

プレーヤーには Music（ミュージック）または Recordings（録音ファイル）の 2 つのモードがあります。モードによって再生機能も異なります。

1. スクローラを押します。
メインメニュー（図 3-1）が表示されます。
2. [Music（ミュージック）] アイコン  または
[Recordings（録音ファイル）] アイコン  を
スクロールセレクトします。



図 3-1

音楽トラックの再生



音楽トラックは英数字順に保存されます。

プレーヤーにトラックを追加する手順については、2-5 ページの「ステップ 3: 音楽やファイルの転送」を参照して下さい。

音楽トラックを再生するには、以下の手順に従って下さい。

1. 「MuVo V200」ロゴが画面に表示されるまで再生 / 一時停止ボタン



を押し続けると、プレーヤーに保存されている音楽トラックが自動的に再生されます。



トラックを一時停止するには

再生 / 一時停止ボタン  を押します。

音楽トラック の削除



録音ファイルを削除するには
Recordings（録音ファイル）
モードで同様の操作を行
います。

トラックを停止するには

再生 / 一時停止ボタン  を押して、トラックを一時停止します。
[Stop（停止）] アイコン ■ が画面に表示されます。

この操作を実行すると、プレーヤーからトラックが完全に削除されます。

トラックを削除するには

1. Music（ミュージック）モードで、削除するトラックを選択します。
2. スクローラを押します。
3. [Delete（削除）] アイコン（図 3-2）をスクロール
セレクトします。リストが表示されます。



図 3-2

4. [Delete（削除）] アイコン（図 3-3）をスクロール
セレクトします。トラック名が画面に表示され、
プレーヤーからトラックが完全に削除されます。



図 3-3

音楽トラック の管理



Creative MediaSource の使い
方の詳細については、オンラ
インヘルプを参照して下さい。

Creative MediaSource オーガナイザを使用すると、再生リストの作成や管理など、より高度なトラック管理タスクを実行することができます。Creative MediaSource プレーヤー / オーガナイザは、デジタルオーディオを再生、作成、整理、および転送するためのデジタルオーディオ用コンポーネントです。Creative MediaSource プレーヤー / オーガナイザを起動するには、デスクトップの [Creative MediaSource プレーヤー / オーガナイザ] アイコン  をダブルクリックします。

フォルダの スキップ



プレーヤーで認識されるルー
トディレクトリのサブフォル
ダのレベルは 1 つだけです。

以下の操作を実行すると、選択したフォルダまでスキップして再生します。

次のフォルダにスキップするには

1. スクローラを押します。
2. [Skip Folder (フォルダ移動)] アイコン (図 3-4) をスクロールセレクトします。
3. 再生するフォルダまでスクロールします。
4. 通常の再生モードに戻るには、もう一度スクローラを押します。



図 3-4

FM ラジオを 聞く



プレーヤーにプリセットチャンネルが保存されていない場合、"No preset found (プリセットなし)" というメッセージが画面に表示されます。

プレーヤーではお好きなラジオ放送を受信することができます。お住まいの地域で受信可能なラジオ局を自動的に検索し、プリセットとして保存することができます。FM Radio (FM ラジオ) モードでは、受信中のラジオチャンネルおよびプリセット番号がプレーヤーに表示されます。

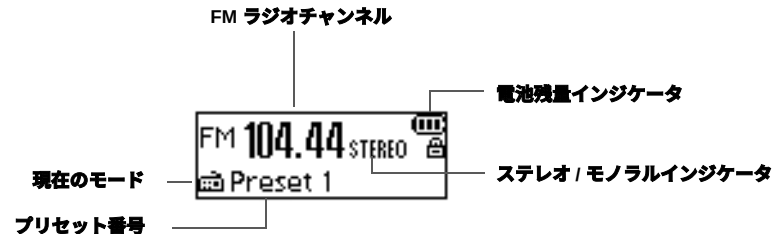


図 3-5



設定できる FM 地域は、海外および日本の 2 つのみです。

FM 地域を変更するには

初めて放送局をスキャンする場合、以下の手順を実行します。

1. スクローラを押します。
メインメニュー (図 3-6) が表示されます。
2. [Settings (設定)] アイコン (図 3-7) をスクロールセレクトします。
リストが表示されます。
3. [FM Region (FM 地域)] アイコン (図 3-8) を選択します。リストが表示されます。
4. お住まいの地域をスクロールセレクトします。



図 3-6



図 3-7



図 3-8

自動検索と自動保存機能を使用するには

1. ヘッドフォンをヘッドフォンジャックに接続します。
2. スクローラを押します。
図 3-9 のようなメインメニューが表示されます。
3. [FM Radio (FM ラジオ)] アイコン (図 3-10) をスクロールセレクトします。
液晶画面にラジオ周波数が表示されます (図 3-11)。
4. スクローラを押します。
5. [Autoscan (オートスキャン)] アイコン (図 3-12) をスクロールセレクトします。
プレーヤーで自動的にチャンネルが検索され、検出されたチャンネルが保存されます。自動検索の終了時には、すべてのチャンネルが自動的に保存され、最初のチャンネルが受信されます。



図 3-9



図 3-10

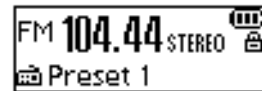


図 3-11



図 3-12

手動でプリセットチャンネルを設定するには

1. スクローラを押します。
図 3-13 のようなメインメニューが表示されます。
2. [FM Radio (FM ラジオ)] アイコン
(図 3-14) をスクロールセレクトします。
液晶画面にラジオ周波数が表示されます
(図 3-15)。
3. プリセットチャンネルが表示されている場合は、
再生 / 一時停止ボタン  を押して手動サーチ
画面に切り替えます。プリセットチャンネルが画
面から消えます。
4. チャンネルを検索するには、スクローラを
どちらかに回して、回した方向に押し続けます。
5. スクローラを押します。
6. [Save Preset (プリセット保存)] アイコンをスク
ロールセレクトします
(図 3-16)。
7. スクローラを回してプリセット番号を選択します。
チャンネルが保存され、画面の左下に
表示されます。
8. 別のチャンネルを保存する場合、手順 2 ～ 6
までを繰り返します。



図 3-13



図 3-14

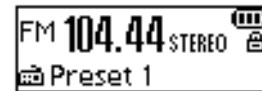


図 3-15



図 3-16



スクローラを右 **▶▶** に動かすと
周波数が高くなり、左 **◀◀** に動
かすと 周波数が低くなります。

チャンネルを選択するには

1. スクローラを押します。
図 3-17 のようなメインメニューが表示されます。
2. [FM Radio (FM ラジオ)] アイコン (図 3-18) をスクロールセレクトします。
液晶画面にラジオ周波数が表示されます (図 3-19)。
3. スクローラを回してプリセットチャンネルを選択します。



図 3-17



図 3-18

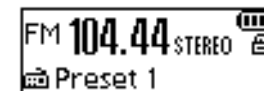


図 3-19



図 3-20



図 3-21



図 3-22



図 3-23

プリセットチャンネルを削除するには

1. スクローラを押します。
図 3-20 のようなメインメニューが表示されます。
2. [FM Radio (FM ラジオ)] アイコン (図 3-21) をスクロールセレクトします。
液晶画面にラジオ周波数が表示されます (図 3-22)。
3. スクローラを回してプリセットチャンネルを選択します。
4. スクローラを押します。
5. [Delete Preset (プリセット削除)] アイコン (図 3-23) をスクロールセレクトします。



プリセットチャンネルが表示されていない場合は、再生/一時停止ボタンを押します。



プリセットチャンネルが表示されていない場合は、再生/一時停止ボタンを押します。

6. [Delete Preset x (x を削除します)] アイコン
(図 3-24) をスクロールセレクトします。
プリセットチャンネルが削除され、次のプリセット
チャンネルが受信されます。



図 3-24

FM プリセット画面と手動サーチ画面を切り替えるには

FM プリセット画面にはプリセットチャンネルが表示され、チャンネル間をスクロールできます。ラジオチャンネルを調整する必要がある場合は、手動サーチ画面に切り替えます。

1. スクローラを押します。
図 3-25 のようなメインメニューが表示されます。



図 3-25

2. [FM Radio (FM ラジオ)] アイコン (図 3-26) を
スクロールセレクトします。
液晶画面にラジオ周波数が表示されます
(図 3-27)。



図 3-26

3. スクローラを押します。

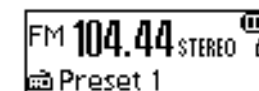


図 3-27

4. [Scroller Mode (スクローラモード)] アイコン
(図 3-28) をスクロールセレクトし、別の画面に
切り替えます。
また、ラジオの受信中に再生 / 一時停止ボタン



図 3-28



を押して、画面を切り替えることもできます。

オーディオおよび FM ラジオの録音

MuVo V200 のもう 1 つの優れた特徴として、音楽および FM ラジオの録音機能があります。音楽の録音ファイルは 8 kHz、4 ビット、モノラルの IMA ADPCM ファイル形式に、また、FM ラジオの録音ファイルは 16 kHz、4 ビット、ステレオの IMA ADPCM ファイル形式に、それぞれ直接変換されます。

録音する場合、録音可能な時間は以下の要素によって変化します。

- プレーヤーの空き容量
- プレーヤーの電池残量

ボイス レコーディング



音声録音の一時停止および再開はできません。

録音中は、録音可能時間が表示されます。また、録音経過時間を示すバーも表示されます。



録音するには

1. スクローラを押します。
[Microphone (マイク録音)] アイコン (図 3-29) をスクロールセレクトします。
録音バーが画面に表示されます。
2. 再生 / 一時停止ボタン  を押して、録音を開始します。
3. 録音を終了するには、もう一度再生 / 一時停止ボタン  を押します。録音ファイルには自動的に名前が割り当てられ、プレーヤーに保存されます。ファイル名は VOC [現在のファイル番号] の形式で保存されます。



図 3-29

FM ラジオの録音



FM ラジオ録音の一時停止および再開はできません。



プリセットチャンネルが表示されていない場合は、再生 / 一時停止ボタンを押します。

FM ラジオの録音中は、録音可能時間を示すバーと、録音経過時間を示すバーが表示されます。また、液晶画面の左下には [FM Radio (FM ラジオ)] アイコンが表示されます。



図 3-30

FM ラジオを録音するには

- スクローラを押します。
図 3-31 のようなメインメニューが表示されます。
- [FM Radio (FM ラジオ)] アイコン (図 3-32) をスクロールセレクトします。
液晶画面にラジオ周波数が表示されます (図 3-33)。
- スクローラを回してプリセットチャンネルを選択します。
- スクローラを押します。



図 3-31



図 3-32

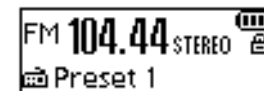


図 3-33

5. [FM Recording (FM ラジオ録音)] アイコンをスクロールセレクトします (図 3-34)。



図 3-34

液晶画面および録音ステータスに録音バーが表示されます。

6. 録音を終了するには、再生 / 一時停止ボタンを押します。FM ラジオの録音ファイルには自動的に名前が割り当てられ、プレーヤーに保存されます。通常、ファイル名は FM [現在のファイル番号] の形式で保存されます。

録音ファイルの再生

録音した音楽トラックおよび FM ラジオトラックは、簡単に再生することができます。Recordings (録音ファイル) モードを選択すると、プレーヤーに経過時間、トラック番号、および録音ファイル名が表示されます。



図 3-35



録音された音声ファイル名は「VOC」から始まります。また、FM ラジオの録音ファイル名は「FM」から始まります。

録音ファイルを再生するには

1. スクローラを押します。
図 3-36 のようなメインメニューが表示されます。
2. [Recordings (録音ファイル)] アイコンをスクロールセレクトします (図 3-37)。
3. 再生する録音ファイルをスクロールセレクトします。トラックが自動的に再生されます。



図 3-36



図 3-37

録音ファイルを削除する手順については、3-3 ページの「音楽トラックの削除」を参照して下さい。

再生モード



複数の再生モードを同時に有効にすることはできません。

再生モードによって音楽トラックの再生方法を変更できます。「17 ページ」で説明されているようにノーマルモードに設定すると、再生モードは無効になります。

次のような再生モードがあります。

- AB リピート
- 曲リピート
- リピート
- 単位リピート
- シングル
- ランダム
- シャッフル
- 単位シャッフル
- ノーマル

再生モードに切り替えるには

1. スクローラを押します。
メインメニュー（図 3-38）が表示されます。



図 3-38

2. [再生モード] アイコンをスクロールセレクトします。リストが表示されます（図 3-39）。

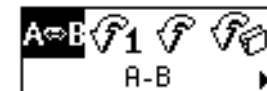


図 3-39

選択するモードに応じて、該当する手順に従って下さい。

曲リピート

トラックを繰り返し再生するには

[Repeat Track (曲リピート)] アイコン  をスクロールセレクトします。

[Repeat Track (曲リピート)] アイコン  が画面に表示され、再生を停止するか別のトラックを再生するまで、指定したトラックが繰り返し再生されます。

単位リピート



Repeat Folder (単位リピート) モードは、Music (ミュージック) モードでのみ使用可能です。

フォルダ内を繰り返し再生するには

[Repeat Folder (単位リピート)] アイコン  をスクロールセレクトします。

[Repeat Folder (単位リピート)] アイコン  が画面に表示され、再生を停止するか別のフォルダを再生するまで、現在のフォルダにあるトラックが繰り返し再生されます。

リピート



トラックの一部を指定して1度だけ再生できます。マーカを新しく指定すると、トラック内の既存のマーカは自動的に削除されます。

すべてのトラックを繰り返し再生するには

[Repeat All (リピート)] アイコン  をスクロールセレクトします。

[Repeat All (リピート)] アイコン  が画面に表示され、再生を停止するまですべてのトラックが繰り返し再生されます。

AB リピート

トラックの一部を繰り返し再生するには

1. [A-B (AB リピート)] アイコン  をスクロールセレクトします。 アイコンが表示され、メッセージが表示されたら、再生部分の開始位置を選択します。
2. スクローラを押して、再生部分の開始位置を指定します。 アイコンが表示され、メッセージが表示されたら、再生部分の終了位置を選択します。
3. スクローラをもう一度押して、再生部分の終了位置を指定します。マーカで指定された部分が繰り返し再生されます。
4. 通常の再生モードに戻るには、3-17 ページの「ノーマル」の手順に従ってノーマルモードに切り替えます。

シャッフル



Shuffle Folder (単位シャッフル) モードは、Music (ミュージック) モードでのみ使用可能です。

すべてのトラックを 1 度だけシャッフル再生するには

[Shuffle Once (シャッフル)] アイコンをスクロールセレクトします。
[Shuffle Once (シャッフル)] アイコン  が画面に表示され、ランダムに選択されたトラックが再生されます。すべてのトラックが 1 回ずつ再生されると、再生が停止します。

フォルダ内のトラックを 1 度だけシャッフル再生するには

[Shuffle Folder (単位シャッフル)] アイコンをスクロールセレクトします。
[Shuffle Folder (単位シャッフル)] アイコン  が画面に表示され、フォルダ内のトラックがランダムに選択され、すべて再生されます。フォルダ内のすべてのトラックが 1 回ずつ再生されると、再生が停止します。

ランダム

すべてのトラックを繰り返しシャッフル再生するには

[Shuffle Repeat (ランダム)] アイコンをスクロールセレクトします。
[Shuffle Repeat (ランダム)] アイコン  が画面に表示されます。再生を停止するまで、ランダムに選択されたトラックが繰り返し再生されます。

シングル

現在のトラックを 1 回だけ再生するには

[Track Once (シングル)] アイコンをスクロールセレクトします。
[Track Once (シングル)] アイコン  が画面に表示されます。
トラックが終了すると再生が停止します。

ノーマル

すべてのトラックを通して再生するには

[Normal (ノーマル)] アイコンをスクロールセレクトしますすべてのトラックがノーマルモードで再生されます。

イコライザ設定

イコライザ設定



イコライザ設定は Music (ミュージック) モードでのみ使用できます。

さまざまなイコライザ設定によって、オーディオの音響効果を高めることができます。ロックやジャズなどのプリセットを選択することも、設定をカスタマイズすることもできます。

1. スクローラを押します。メインメニュー (図 3-40) が表示されます。



図 3-40

2. [EQ (イコライザ)] アイコン (図 3-41) をスクロールセレクトします。
3. 次のいずれかのオプションを選択します。
 - Normal (ノーマル)
 - Rock (ロック)
 - Pop (ポップス)
 - Classical (クラシック)
 - Jazz (ジャズ)
 - Custom EQ (カスタム)



図 3-41

カスタマイコライザの 定義

1. [Custom EQ (カスタム)] アイコンをスクロールセレクトします。[Custom EQ (カスタマイコライザ)] 画面 (図 3-42) が表示されます。
2. 画面には 5 つの縦方向のコントロールレバーが表示されます。5 つのレバーは、右へ行くほど高周波の音域をコントロールできます。62 Hz レバーは低域の周波数、250 Hz レバーは中低域の周波数、1 kHz レバーは中域の周波数、4 kHz レバーは中高域の周波数、16 kHz レバーは高域の周波数をそれぞれコントロールします。
3. 各コントロールレバーをスクロールセレクトします。スクローラを使用してコントロールレバーのつまみを上下に動かし、選択した周波数域の強弱を調整します。
4. チェックマークをスクロールセレクトして、[Custom EQ (カスタマイコライザ)] ウィンドウを閉じます。

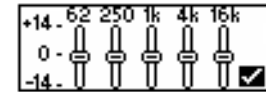


図 3-42

ユーザー設定

設定

さまざまな設定のオプションを使用して、ユーザー設定を調整することができます。コントラストまたはバックライトなどのプリセットの表示設定の調整、プレーヤーのデフォルト言語の変更、および使用可能なメモリー空き容量など情報の表示などの操作を行うことができます。

1. スクローラを押します。
2. [Settings (設定)] アイコン (図 3-43) をスクロールセレクトします。
リストが表示されます (図 3-44)。



図 3-43

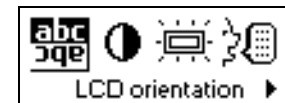


図 3-44

選択するモードに応じて、該当する手順に従って下さい。

プレーヤーの画面のコントラストレベルを設定するには

1. [Contrast (コントラスト)] アイコンをスクロールセレクトします。[Contrast (コントラスト)] 画面 (図 3-45) が表示されます。
2. スクローラを回して液晶画面のコントラストを調整します。数値が小さいほど液晶画面のコントラストが低くなります。

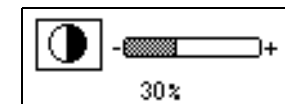
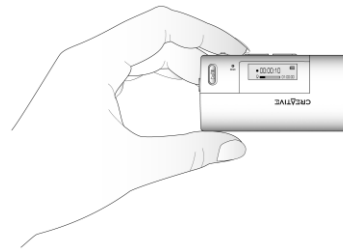


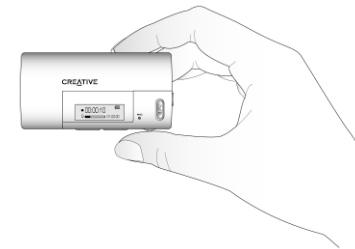
図 3-45

液晶画面を 180 度回転させるには

お使いのプレーヤーには、液晶画面を 180 度回転させる便利な機能があります。これは左利きの方に便利です。液晶画面を回転させるには、以下の手順に従ってください。



左利きの場合



右利きの場合

[LCD Orientation (表示方向)] アイコン  をスクロールセレクトします。
液晶画面が 180 度回転します (図 3-46)。

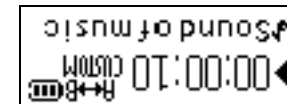


図 3-46

画面のバックライトの持続時間を調整するには

1. [Backlight (バックライト)] アイコンをスクロールセレクトします。
2. バックライトの持続時間をスクロールセレクトするか、無効にします。
時間を短く設定するとバッテリーが節約され、プレーヤーの再生時間が長くなります。

自動シャットダウンまでの時間を指定するには

1. [Idle Shutdown (シャットダウン)] アイコンをスクロールセレクトします。
2. プレーヤーの休止時に自動的にシャットダウンされるまでの時間をスクロールセレクトします。

デフォルトの言語を変更するには

1. [Language (言語)] アイコンをスクロールセレクトします。
2. 使用する言語をスクロールセレクトします。

ファームウェアのバージョン、全容量、空き容量およびトラックカウントを表示するには

1. [Information (情報)] アイコンをスクロールセレクトします。

プレーヤーの ロック / ロック 解除

プレーヤーをロックすると、プレーヤーのすべてのボタンが無効になります。これによって、再生 / 一時停止などのボタンを誤って押してしまう危険はなくなります。

プレーヤーがロックされているときにボタンを押すと、プレーヤーのロック解除を促すポップアップウィンドウが表示されます。このウィンドウは 5 秒間だけ表示されます。

プレーヤーをロックするには

1. スクローラを押します。
2. [Lock (ロック)] アイコン (図 3-47) をスクロールセレクトします。プレーヤーがロックされます。

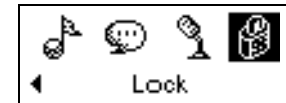


図 3-47

プレーヤーのロックを解除するには

1. 任意のボタンを押します。ポップアップウィンドウが表示されます (図 3-48)。
2. [Unlock (ロック解除)] アイコンをスクロールセレクトします。プレーヤーのロックが解除されます。



図 3-48

プレーヤーのフォーマット



Windows 98 SE をお使いの方は、プレーヤーをお使いになる前に MuVo V200 ドライバをコンピュータにインストールしてください。ドライバのインストールの詳細については、2-5 ページの「ステップ 3: 音楽やファイルの転送」を参照して下さい。



Windows 2000 および Windows XP をお使いの方は、プレーヤーのフォーマットを行う前に、必ず [F: のフォーマット] ダイアログボックスのファイルシステムで FAT または FAT 16 を選択して下さい。

プレーヤーのフォーマットを行う必要がある場合は、まず始めにプレーヤーのファイルをコンピュータにバックアップして下さい。プレーヤーのフォーマットを行うと、すべての音楽トラックおよびデータファイルは削除されます。デフォルトでは、プレーヤーはフォーマットされた状態です。

1. プレーヤーをコンピュータの USB ポートに接続します。
2. Windows エクスプローラを起動します。プレーヤーは Windows エクスプローラでリムーバブルディスクとして認識されます。
3. [リムーバブル ディスク] アイコンを右クリックし、[フォーマット] をクリックします。

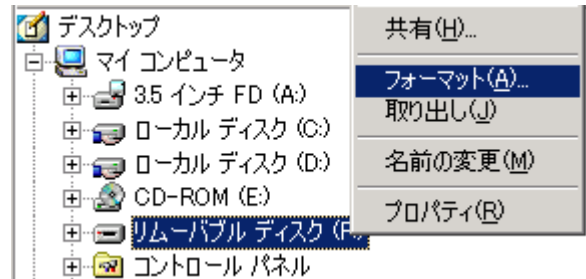


図 3-49

[F: のフォーマット] ダイアログボックスが表示されます（プレーヤーに該当するリムーバブルディスクが F ドライブの場合）。

4. 画面の指示に従ってプレーヤーのフォーマットを行います。
5. フォーマットが完了したら、プレーヤーが停止していることを確認してから、プレーヤーをコンピュータから取り外します。プレーヤーを停止する手順については、C-2 ページの「使用方法」を参照して下さい。

Windows エクスプローラの使い方の詳細については、オンラインヘルプを参照して下さい。

A

技術仕様

技術仕様

サイズ (幅×高さ×奥行き)

- 約 36.50 mm × 74.50 mm × 15.00 mm

重量

- 33 g (電池非装着時)、45 g (単 4 乾電池装着時)

内蔵メモリー

- 128/256/512 MB 内蔵メモリー

電池のタイプ

- 単 4 アルカリ乾電池 1 個

電池の持続時間 (連続再生時間)

- MP3 128 kbps の場合は、新しい単 4 アルカリ乾電池で最大 15 時間の連続再生が可能。
- WMA 64 kbps の場合は、新しい単 4 アルカリ乾電池で最大 11 時間の連続再生が可能。
以下の操作を行うと、再生時間が短くなることがあります。
 - ・ 再生中にトラックのスキップ、早送り、巻き戻しを繰り返す
 - ・ パッシブスピーカーやインピーダンスの高いヘッドフォンを使用する
 - ・ バックライトのタイムアウトを長く設定する (10 秒以上)
 - ・ ビットレートの高い WMA ファイルを大音量の低音で再生する
- FM ラジオの場合は、新しい単 4 アルカリ乾電池で最大 12 時間の連続再生が可能。

再生フォーマット

- MP3 (8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz)
- WMA (8、11.025、16、22.05、32、44.1、48 kHz)
- 著作権保護 (DRM) 付き WMA (16、22.05、24、32、44.1 kHz)

レコーディング形式

- ボイスモード :IMA ADPCM (8 kHz、4 ビット、モノラル)
- FM ラジオ :IMA ADPCM (16 kHz、4 ビット、ステレオ)

SN 比

- ≥ 90 dB

チャンネル セパレーション

☐ ≤ 63 dB

再生周波数

☐ 20 ~ 20000 Hz

全高調波歪率

☐ $<0.05\%$

オペレーティング システム / ファーム ウェア

☐ アップグレード可能

ヘッドフォン出力 端子

☐ 3.5 mm ステレオミニジャック、5 ~ 7 mW

液晶画面

☐ 96 × 32 ピクセル、EL バックライト付き液晶

データポート

☐ USB 1.1
☐ USB 2.0

ファームウェア サポート*

☐ プログラマブル

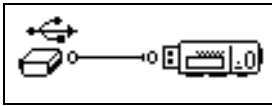
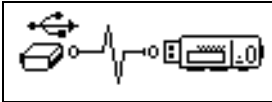
* ファームウェアの更新については、<http://japan.creative.com/support/drivers/> をご覧下さい。

B

画面に表示される図およびアイコンについて

画面に表示される図およびアイコンについて

画面に表示 される図

図	動作 / 意味
	○ プレーヤーはコンピュータに接続されています。プレーヤーを使用するには、コンピュータから外してください。
	○ プレーヤーにファイルを転送中です。

再生アイコン



各操作ごとに、対応するアイコンが液晶画面に表示されます。

アイコン	動作 / 意味
	○ 再生
	○ 一時停止
	○ 停止
	○ 先送り
	○ 巻き戻し
	○ 先ヘスキップ
	○ 後ろヘスキップ

再生モードアイコン

アイコン	動作 / 意味
 1	○ 曲リピート
	○ 単位リピート
	○ リピート
 1	○ シャッフル
	○ ランダム
	○ 単位シャッフル
 1	○ シングル
	○ トラック内の指定した範囲を再生

エラーを示す図

エラーが発生すると、次のいずれかの図が表示され、エラーの原因を確認できます。

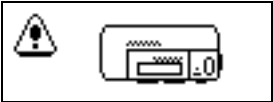
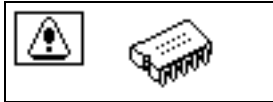
図	内容	対処方法
	○ 物理的損傷 ○ 度重なる強度の衝撃	○ テクニカルサポートに連絡する
	○ データの保存中に電源が切れる	○ 最新のファームウェアをダウンロードする ○ ファームウェアをリロードする ○ テクニカルサポートに連絡する
	○ 選択されたタスク（ファイルの削除など）をプレーヤーで実行できない	○ プレーヤーのメモリーをクリアする ○ テクニカルサポートに連絡する
	○ ファイルシステムがサポートされていない ○ ファイルシステムが破損している	○ フォーマット形式にFAT が選択されていることを確認する ○ プレーヤーをスキャンディスクする

図	内容	対処方法
 Unsupported format VOC.000001.WAV	○ ファイル形式がサポートされていない	○ 再生しようとしているファイルが WMA/MP3 形式のファイルまたは録音された音声ファイルのいずれかであることを確認する
 No free space	○ プレーヤーのメモリーの空き容量が少なく、録音を続行できない	○ 不要なファイルを削除する
	○ 電池の消耗により、プレーヤーを起動できない	○ 新しい電池を挿入する

C

FAQ

FAQ

ここでは、プレーヤーのご使用に関するよくあるご質問についてお答えします。ご質問は内容ごとに分類されており、参照しやすくなっています。さらに詳細な情報が必要な場合は、セルフヘルプツールである "Knowledge Base" を検索することもできます。www.creative.com にアクセスし、地域を選択してください。

自動再生

マイ コンピュータのショートカットアイコンからインストールプログラムを起動するには

1. デスクトップの [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックするか、Windows のスタートメニューからマイ コンピュータを開きます。
2. [CD-ROM ドライブ] アイコンを右クリックし、ショートカットメニューから [自動再生] をクリックします。
3. 画面に表示される手順に従って操作します。

Windows エクスプローラからインストールプログラムを起動するには

1. Windows エクスプローラを起動し、d:¥ctrun フォルダを開きます。ここで「d:¥」は、ご使用の CD-ROM ドライブ名を表しています。
2. ctrun.exe ファイルをダブルクリックします。

製品情報

MuVo 全製品に関する公式情報はどこで入手できますか？

MuVo 全製品、Creative 社の MP3 プレーヤー、およびアクセサリに関する最新情報とダウンロードを弊社ウェブサイト (japan.creative.com) で提供しております。

使用方法

電池を頻繁に交換しなくてはなりません。電池を長持ちさせる方法がありますか？

次のような設定や操作を行うと、電池の消耗が早くなります。

- バックライトのタイムアウト設定が長い。タイムアウト設定を短くすると電池を節約できます。
- コントラストが高く設定されている。コントラストの設定を低めにしても画面が読み取れるようにプレーヤーの位置を調整します。
- トラック内の早送り / 巻き戻しを繰り返す。
- プレーヤーの電源のオン / オフを頻繁に切り替える。
- パッシブスピーカーやインピーダンスの高いヘッドフォンを使用する。
- WMA ファイルを再生する。

再生中にトラックがスキップされます

プレーヤーでは、MP3/WMA 形式のファイル、WAV 形式で録音したファイルしか再生できません。他の形式のファイルはスキップされます。

プレーヤーに転送したファイルやトラックが破損しています

ファイルの転送中に転送が中断された可能性があります。コンピュータからプレーヤーを取り外す前に、まずプレーヤーを適切に終了したどうか確認して下さい。終了方法については、2-7 ページの「ステップ 4: プレーヤーの終了」を参照して下さい。

プレーヤーの電源を入れても、すぐにオフになります

次のいずれかの操作を行ってください。

- プレーヤーをフォーマットする。フォーマット方法については、3-24 ページの「プレーヤーのフォーマット」を参照して下さい。
- 電池が新しい、または消耗していないことを確認する。

プレーヤーにデータを保存して持ち運ぶことができますか？

はい、できます。

著作権保護 (DRM)

著作権保護 (DRM) 付きの WMA ファイルを再生できますか？

はい。DRM 付き WMA 形式のファイルをプレーヤーに転送するには、Creative MediaSource を使用します。

CREATIVE®